

# JHF 理事会議事録

日 時： 2021年7月1日(木) 16:05~18:30

場 所： JHF事務局会議室（北区中里1-1-1-301） ZOOM会議

## 1. 議長・議事録作成人指名

議長： 大沢 豊 議事録署名人：出席理事監事全員

## 2. 定足数確認

出席者：出席【理事】 芦川雄一郎

オンライン(ZOOM) 大沢 豊 小林秀彰 竹村治雄

橋田明夫 濱田 革 安田英二郎 山口隆文

【監事】 オンライン(ZOOM) 岩村浩秀 大森健一

(出席理事8名 今理事会は定足数を満たし成立した)

## 4. 審議事項

### 4-1号議案 委員承認について

(1) ハングパラ振興委員会委員、役員選任実行委員会委員に篠塚富偉氏を選任する件  
結果

理事会の全員一致で同氏を選任した。

(2) 補助動力委員会委員に小川勝良氏を選任する件  
結果

理事会の全員一致で同氏を選任した。

会議の要旨

篠塚氏については、以前、JPMAの事務局長をしていたことから委員への就任を当時の理事会が認めなかったことがあり、現在は事務局長は退任しているがJPMAの役員であるという説明があった。

小林 公益社団法人には特定の正会員からの理事が理事総数の3分の1を超えてはいけないという以外の制約はない。

橋田 人物も良くJPMAとの橋渡しにもなってくれると思う。

竹村 利益相反がなければ妨げる理由はないのではないかと。守秘義務はすべての役員が負っているからこの人にだけ守秘義務の誓約書を求める必要はない。

大森 JPMAと利益相反することはあるのか？

橋田 JPMAはモーターでのフライト、JHFは滑空するための補助動力であり、ないと思う。

大森 今回の立候補は、ハングパラ振興委員会と役員選任実行委員会で、補助動力委員会でもないのでいいのではないかと。

## 5. 協議事項

### 1 理事が担当する委員会の決定

#### 会長提案

前会長は全ての委員会に出席していたが、それはJHFのあるべき姿ではないJHFでは担当理事がその担当する委員会に全て参加し、委員長との連絡を密にして委員会と理事会との橋渡しをすることが求められる。今後は委員会毎に正担当理事、副担当理事を決め担当理事が責任を持って進めていくようにしたい。

#### 結果（正・副）

教員スクール事業委員会	山口・橋田
ハングライダー競技委員会	大沢
パラライダー競技委員会	濱田・山口
安全性委員会	竹村・小林
補助動力委員会	橋田（担当理事は1名となった）
制度委員会	小林・竹村
ハング・パラ振興委員会	芦川・濱田
事務局担当	芦川
JAA	会長 芦川
内閣府担当	会長 芦川（岩村）
予算編成・渉外・広報	会長 副会長（大森）
普及事業	会長 芦川
CIVIL	理事会
無線	芦川
公印担当	会長 芦川
入出金	会長 芦川
会計	会長 芦川

#### 会議の要旨

山口 担当理事の正と副を決めるのはいいと思う。これまでは委員会からの発信は多かったが、理事会からの発信は少なかったので、今後は改善して欲しい。専門性のある人が担当になるべきである。

竹村 担当以外の理事も委員会に参加できるのか？

橋田 これまでは理事と相談してアドバイスを受けてやってきたが、理事会と委員会はどのような関係にあるのか。

小林 理事会は委員会に諮問する、委員会は理事会に提案する。総会で担当理事が委員会報告をするようにならないとあるべき姿にならない。

岩村 法律的には理事会が業務執行するが、これまでは委員会がやりたいということではできるだけ理事会も進めていくようにしてきた。

橋田 これまでの委員長会議はどう扱うのか。

岩村 3月末までに予算を作成しなければならない。委員長会議で予算の必要な企画があるかどうかを聞いていた。担当理事は委員会の代弁者となる、委員会が暴走したときは止めてもらう。

山口 一人の理事がする3つ以上の委員会を担当すると力が分散してしまうので担当は2以内にした方がいい。

JAA担当や、内閣府担当も決めるべきではないか？という意見も出されたが、これまで内閣府の関係は全て前市川理事が対応してきており代わる者がいないこともあり、とくに担当理事は決めない。

### 3 理事の日当について

#### 会長提案

前期の理事会では会費値上げをしたこともあり理事日当は返上していたが、新しい理事会になったのでこの点をどうするか決めていただきたい。

#### 結果

今回の理事会から、Zoom理事会を含め、理事日当を支払う。

#### 会議の要旨

山口 決められたものがあるならそのとおりに支払うべきである。委員会活動でも無償で活動する風潮があるがボランティアになってしまうと今後の活動にマイナスなところもある。

岩村 報酬と日当とは違う。報酬は源泉徴収も必要なものでJHFでは現在理事に報酬は払っていないのであくまでも役員は無報酬である。日当はその人にかかる費用の弁償である。

山口 Zoom委員会であっても時間をさいている。それに対する日当は払うべきである。また、委員会でいいものを作っていく上では、たとえ源泉徴収が必要になっても報酬まできちんと払うべきだと思う。

竹村 日当は払うべきである。Zoomであっても時間をさいているので、払うと決まっているなら払うべきである。

山口 上級タンデムの教本を書いたが報酬はもらっていない。理事会もきちんと労働に対する対価を払っていくべきで、そういうチェックをしていくべきである

竹村 教本を作るときは、そういう作成費用も決めていくべきである。

#### 議決

リモートを含め理事会日当を払う件について決議をとり、芦川、小林、竹村、橋田、山口、安田が支払う。濱田が返上する。

### 4 理事会議事録について

#### 会長提案

理事会議事録をこれまでの逐語訳を事務局が作るのではなく、結論と重要な意見だけを書いたものにし、交代で理事が作成することにしたい。

#### 結果

とりあえず会長提案のものと従来どおりのものと両方作ってみることとなった

## 会議の要旨

不明 提案されたやり方は議事録を書く人によって違いが出るのではないか。

芦川 これまでの議事録で内閣府から評価されているので従来どおりでいい。

橋田 これまでの議事録は読むのが大変なので要旨でいい。

山口 議論の全てを公開されるとかえって自由な意見や議論ができなくなり、理事会の活性化に反する。

竹村 あまりに生々しいものはどうかと思うが、意見も後々役に立つことがあるので残したい。喧嘩のような議事は公開しない方がいい。自分が関係するところでは議事録要旨のみを公開している。

橋田 作ったものを隠すというのは良くないそれなら作らない方がいい。公開可能なものだけを作って、録音はそのまま残しておく、録音を文字起こしすることはしないほうがいい。

大森 橋田意見に賛成。

小林 会長提案のものを作成する、従来どおりのものと両方作ってみる。

→ 理事会全員の賛成となり、とりあえず両方作ってみることになる。

## 5 理事会の年間スケジュール

岩村 理事会は年間スケジュールを先に決めておいた方が予定を立てやすいので良いのではないか。

## 結果

理事会の年間開催予定として、2月、3月、5月、6月、9月、12月とし、それぞれの理事会開催の一カ月前までに「調整くん」等を利用して、事務局で理事会開催日を調整してもらう。

## 会議の要旨

岩村 3月は予算作成のため、5月は総会準備のため、6月は総会後の理事会として、この3回は必ず理事会を開催する必要がある。

小林 何月の第○曜日と決めてはどうか。

竹村 理事会開催日を今決めても、それから突発的な予定が入ってしまうこともあるので、一カ月くらい前に事務局で調整してもらう方が良い。

橋田 リアルの理事会のときは香川から行くので早めに決まれば安いチケットを利用できる。

この議事録が事実と相違ないことを確認し記名押印する。（出席理事）

理事

芦川雄一郎 印

大沢 豊 印

小林秀彰 印

竹村治雄 印

橋田明夫 印

濱田 革 印

安田英二郎 印

山口隆文 印

監事

岩村浩秀 印

大森健一 印

議事録作成人：安田英二郎